

市が提案を期待する食物アレルギー対応の拡充について

食物アレルギー対応食の提供については、「卵」と「えび・かに」の除去食を必須とする
が、対応食物を特定原材料7品目まで広げるなどにより対応を拡充することについて、市は
事業者からの提案を特に期待している。

については、以下の情報を参考とし、積極的な提案を求める。

川西市立小学校における食物アレルギーの実態

1. 令和元年度における川西市立小学校の状況
2. 有症率は小学校児童数7920人から算出
3. 「献立不使用」欄に○印がある食品は、献立に使用していない

	食品名	順位	人数	有症率	構成割合	献立不使用
特定原材料 (7品目)	卵	1	228人	2.9%	25.4%	
	乳	2	101人	1.3%	11.3%	
	落花生	3	79人	1.0%	8.8%	○
	えび	4	65人	0.8%	7.3%	
	かに	6	47人	0.6%	5.2%	
	そば	7	45人	0.6%	5.0%	○
	小麦	8	31人	0.4%	3.5%	
特定原材料に準ずるもの (20品目)	キウイフルーツ	5	51人	0.6%	5.7%	○
	いくら	9	30人	0.4%	3.3%	○
	くるみ	10	27人	0.3%	3.0%	○
	やまいも	11	23人	0.3%	2.6%	○
	りんご	11	23人	0.3%	2.6%	
	さば	11	23人	0.3%	2.6%	
	バナナ	14	22人	0.3%	2.4%	○
	もも	15	20人	0.3%	2.2%	
	いか	16	19人	0.2%	2.1%	
	カシューナッツ	17	17人	0.2%	1.9%	○
	ごま	18	16人	0.2%	1.8%	
	さけ	19	11人	0.1%	1.2%	
	大豆	20	9人	0.1%	1.0%	
	オレンジ	21	3人	—	0.3%	○
	あわび	22	2人	—	0.2%	○
	牛肉	22	2人	—	0.2%	
	鶏肉	22	2人	—	0.2%	
豚肉	25	0人	—	0.0%		
まつたけ	25	0人	—	0.0%	○	
ゼラチン	25	0人	—	0.0%	○	